

大人も 子どもも 安全 安心

登下校中の子どもの交通事故に加え、地域の登下校の見守りボランティアの方の通学指導中の事故も起こっています。梅雨の時期を迎えて、路面状況や見通しが悪くなることを踏まえ、交通事故防止に向けて取組の徹底をお願いします。ボランティアの方への注意喚起や保険加入等の確認等も定期的に行っていきましょう。

登校中の子どもの列に車が！

5月20日午前7時50分頃、大阪府豊中市柴原町5丁目の市道で、登校中の市立桜井谷小学校1～6年生の男子児童5人と通行人の女性(40)の計6人が乗用車にはねられた。大阪府警によると、男児1人が意識不明の重体、別の男児2人が重傷、残りの3人が軽傷とみられるという。
(朝日新聞デジタル)

そこで

子どもたちのより安全な登下校のために、多くの見守りボランティアの方々が関わってくださっています。

しかし

5月25日 山形県
登校する児童らの交通指導をしていた77歳男性が乗用車にはねられ、頭を強く打ち死亡。

防ぐことが難しいような事故も 何とかしたい！

★学校職員へ

- より安全な道を通学路とする。
- 交通安全指導をさらに徹底する。

★見守りボランティアの方へ

- 交通安全の注意喚起をする。
- より目立つジャンパー・帽子を着用する。

見守り隊自身の 安全・安心を守るために

- ★ボランティア登録更新と保険加入の確認は定期的に行っていますか。
- ★見守り指導中の怪我等については、保険の対象となることを伝え、きちんと申請できていますか。

ボランティアの安全・安心を 連絡・報告は密に

ボランティア活動の事前事後の連絡報告は大切です。